

令和3年3月1日

令和3年第1回神奈川県議会定例会

国際文化観光・スポーツ常任委員会報告資料

スポーツ局

目 次

	ページ
1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について……………	1
2 神奈川県スポーツ推進計画（エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン）の見直し時期の 変更について……………	19
3 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた県立スポーツ施設の休館等について……………	21

1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

(1) 概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の県内開催競技は、江の島でのセーリング、横浜国際総合競技場でのサッカー、横浜スタジアムでの野球・ソフトボール及び相模原市、山北町の一部をコースに含む自転車競技ロードレースの4競技となっている。（P12、13参照）

昨年3月に東京2020大会の延期が決定されたが、県では、大会の成功に向けて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）や市町村等の関係者との協議・調整や、セーリング競技会場となる湘南港の既存艇の再移動をはじめとする大会開催に向けた諸準備を着実に進めてきた。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、内閣官房、東京都、組織委員会等からなる新型コロナウイルス感染症対策調整会議が、アスリート、大会関係者、観客の3つのカテゴリーにおいて、入国、輸送、会場等の場面ごとにまとめた対策を昨年12月に「中間整理」として公表した。（P14、15参照）

さらに、組織委員会、国際オリンピック委員会、国際パラリンピック委員会は共同で、安全・安心な大会にするために、選手等の関係者が守るべき具体的な行動ルールなどを定めた「プレイブック（ルールブック）」（初版）を作成し、本年2月に公表した。

県では、県が主体となって取り組む聖火リレーやライブサイト、事前キャンプなどについて、これらの感染症対策と併せ、関係者と連携し、情報共有を図りながら取り組んでいる。

(2) セーリング競技の準備

ア 日程

時期	大会名	日程
令和 元年	READY STEADY TOKYO ーセーリング(※1)	8月17日(土)～22日(木) (事前計測日:8月15日～16日)
	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2019	8月25日(日)～9月1日(日) (計測日:8月25日～26日)
令和 2年	【中止】セーリングワールド カップシリーズ 江の島大会2020	(中止前の日程) 6月14日(日)～21日(日)
	【延期】東京2020大会	(延期前の日程) 7月26日(日)～8月5日(水)
令和 3年	ワールドイズワン江の島 セーリングカップ 2021 (※2)	6月8日(火)～15日(火)
	東京2020大会	7月25日(日)～8月4日(水)

※1 組織委員会主催のテストイベント。観客対応はなし。

※2 セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2020の中止に伴い、
(公財)日本セーリング連盟が、これに替わる大会として、開催を
予定しているもの。

イ 現在の調整状況

(ア) 既存艇の移動

東京2020大会・セーリング競技の開催を支援するため、大会期間中は、湘南港に保管されている全ての既存艇を江の島島外のマリーナ等に分散して移動いただくこととしている。

現在、ディンギー及び陸置クルーザーの移動を行っており、3月中旬までに完了した後、4月から係留クルーザーの移動を開始する予定である。また、大会終了後は10月中旬を目途に再び湘南港への移動を行う。

<艇の主な動き>

区分	湘南港	移動先
移動前 (令和2年1月)	全ての艇 (709艇)	—
大会延期決定時点 (令和2年3月)	約1割 (74艇)	約9割 (635艇)
大会までの期間 〔令和3年1月31日現在〕	<利用者が選択>	
	約6割 (396艇)	約4割 (308艇)
大会直前 (令和3年5月)	—	全ての艇 (704艇)
大会終了後 (令和3年10月)	全ての艇 (704艇)	—

※ 移動期間中の利用廃止5艇

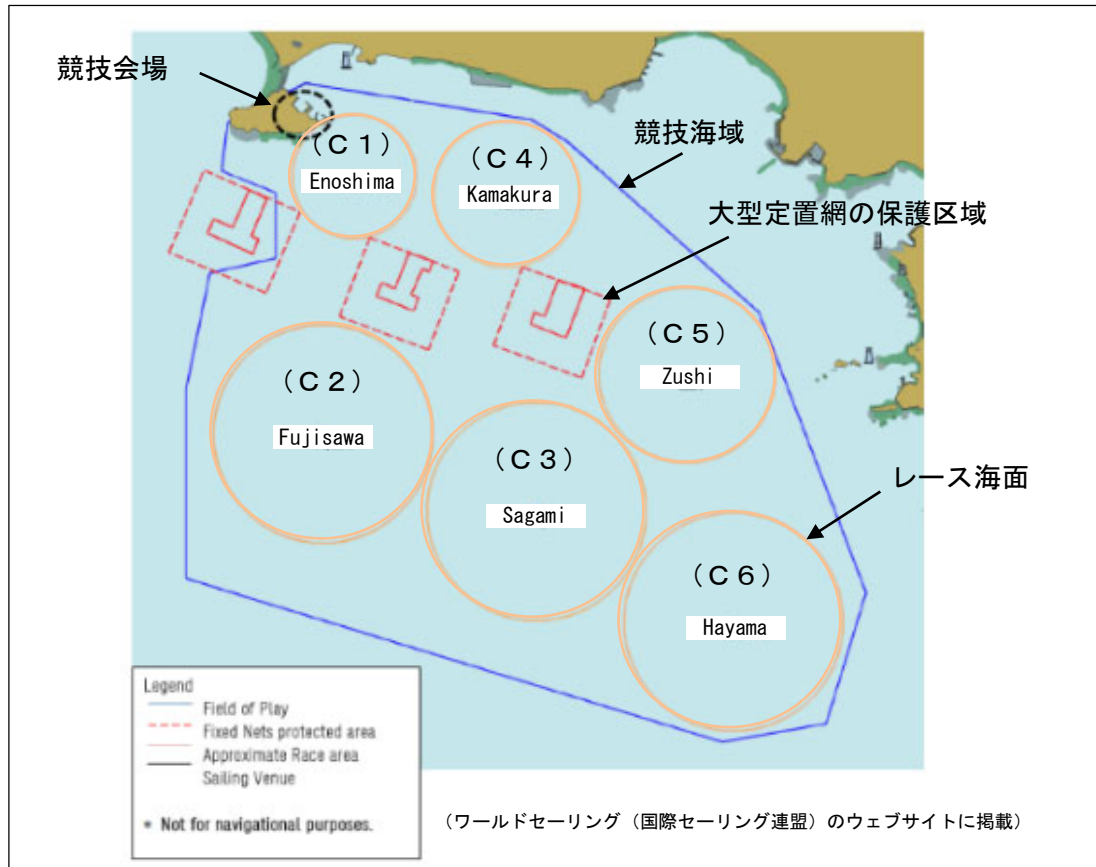
<艇の移動先(計704艇)>

艇種	移動先
ディンギー 573艇	<ul style="list-style-type: none"> ・逗葉フリートハウス(逗子市) ・葉山港(葉山町) ・湘南サニーサイドマリーナ(横須賀市) ・油壺ヨットハーバー(三浦市) ・八景島マリーナ(横浜市金沢区) ・若洲ヨット訓練所(東京都江東区) ・稲毛ヨットハーバー(千葉県千葉市) ・湘南港漁港区(藤沢市) ・柳島水再生センター(茅ヶ崎市) ・ダイトーコーポレーション南本牧物流センター(横浜市中区) ・利用者自身で探した移動先
クルーザー (係留) 74艇	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子マリーナ(逗子市) ・葉山マリーナ(葉山町) ・シーボニアマリーナ(三浦市) ・みうら・宮川フィッシャリーナ(三浦市) ・シティマリーナヴェラシス(横須賀市) ・横浜ベイサイドマリーナ(横浜市金沢区) ・伊東サンライズマリーナ(静岡県伊東市) ・八景島マリーナ(横浜市金沢区) ・利用者自身で探した移動先
クルーザー (陸置) 57艇	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子マリーナ(逗子市) ・葉山マリーナ(葉山町) ・湘南サニーサイドマリーナ(横須賀市) ・シーボニアマリーナ(三浦市) ・油壺ヨットハーバー(三浦市) ・シティマリーナヴェラシス(横須賀市) ・利用者自身で探した移動先

(イ) レースエリア

組織委員会は、レースエリア及びレース運営方法について、漁業関係者と継続的に協議を重ねており、今後合意を得た上で確定していく予定である。

【参考】 組織委員会が公表したレースエリアの案



(ウ) 輸送・交通対策

a 江の島周辺で行われる交通規制等（予定）



b 大会時の交通対策

江の島周辺の来訪者に対し、公共交通機関が取り組む新型コロナウイルス感染防止対策の周知など、公共交通機関の利用を促す広報を進め、組織委員会と連携して、大会期間中の江の島周辺における円滑な交通環境の実現と観光の両立を図っていく。

ウ 競技会場等の整備

(ア) 仮設施設

組織委員会は令和元年12月に、放送・通信などの会場運営用施設や、選手用ラウンジ、計測などの競技運営用施設などセーリング競技会場の仮設工事に着手した。

しかし、大会延期を受け、施工済みの仮設施設のうち、湘南港の利用に大きな影響が出る陸置クルーザーヤードや臨港道路附属駐車場に設置された施設は撤去し、その他の大型の仮設施設等については存置した。

組織委員会では、令和3年3月から陸置クルーザーヤード等の工事を再開するなど、今後、順次範囲を拡大しながら、会場整備を進める予定である。

(イ) 恒久施設等（県土整備局で実施）

東京2020大会時にレース運営の中心となる施設として使用される江の島セーリングセンターや、島内へのアクセスを円滑にするための江の島大橋の3車線化など、大会に向けた整備は概ね完了している。現在、島内の歩道舗装など一部施設の改修を行っている。

エ 役割分担・費用負担

東京2020大会・セーリング競技の江の島開催に向けた準備を円滑に進めるため、平成29年5月31日に合意された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」、いわゆる大枠合意に基づき、必要な恒久施設の整備を行った。

なお、艇の移動に係る費用については組織委員会から支払われることとなっている。

(3) その他の県内開催競技（P12、13 参照）

ア サッカー

横浜国際総合競技場を含む全国7会場で開催される。横浜国際総合競技場では、男子は令和3年7月22日から決勝が行われる8月7日までの8試合が、女子は7月27日から準決勝が行われる8月2日までの3試合が行われる。

イ 野球・ソフトボール

野球・ソフトボールともに、予選の一部が福島あづま球場で行わ

れるほかは、全て横浜スタジアムにおいて開催される。野球は令和3年7月29日から決勝が行われる8月7日までの15試合が、ソフトボールは7月24日から決勝が行われる7月27日までの11試合が行われる。

ウ 自転車競技ロードレース

コースは、東京都の武蔵野の森公園からスタートし、静岡県富士スピードウェイをゴールとし、総距離は、男子約244km（うち相模原市28.4km、山北町1.6km）、女子約147km（同相模原市28.4km）となっている。男子は令和3年7月24日、女子は7月25日に行われる。

(4) 東京2020大会の成功に向けた取組

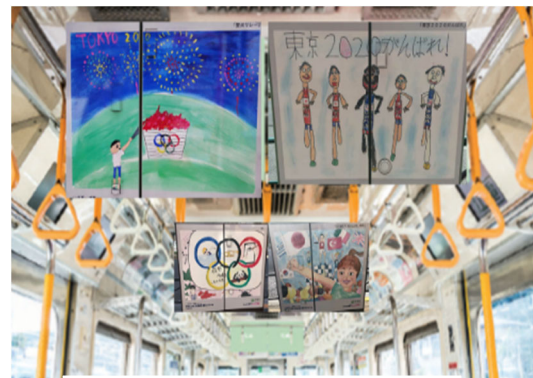
ア シティドレッシング等

(ア) 県庁舎等シティドレッシング

東京2020大会の機運を高めるため、本庁舎新庁舎間の渡り廊下や県立スポーツセンター、湘南モノレールのドレッシング（装飾）を続けるとともに、新たに本庁舎敷地外壁を大会エンブレム等でドレッシングするほか、江ノ電の車内に子ども達が大会を応援するために描いたポスターを掲出する。



(本庁舎ドレッシングのイメージ)



(江ノ電車内のイメージ)

(イ) セーリング競技関連シティドレッシング等

セーリング競技を盛り上げるため、一般国道134号の横断歩道橋や道路照明灯等の一部に横断幕やフラッグによるドレッシングを実施するとともに、最寄り駅から観客入退場口までの徒歩ルート（ラストマイル）を壁面シールやフラワーレーン等でドレッシングする。また、江の島ヨットハーバーで二度目のオリンピックが開かれることを記念し、その記憶を継承していくため、大会概要や出場した日本代表選手等を記載した銘板を設置する。



(フラッグによるドレッシングのイメージ)



(壁面シールによるドレッシングのイメージ)

イ 機運醸成事業

大会直前の壮行会に加え、大会終了後には、出場選手の栄誉をたたえ、大会の記憶が県民に深く刻まれるよう祝賀会を開催する。なお、開催に当たってはリモート出演やネット配信等、新型コロナウイルス感染症対策に配慮する。また、セーリング競技の日本代表内定選手や神奈川県ゆかりの選手を応援するための動画を県ホームページ等で発信するほか、組織委員会の「参画プログラム」の取組を推進する。



(セーリングの日本代表内定選手応援動画)



(神奈川県ゆかりの選手応援動画)

ウ 聖火リレー (P16参照)

(ア) オリンピック聖火リレー

延期後のオリンピック聖火リレーについて、組織委員会は令和2年9月25日に、121日間の実施日数、リレールート、セレブレーション実施回数の維持や現在の聖火ランナーを尊重することを示すとともに、セレブレーションの装飾や機材の見直し、リレー車両の削減などの簡素化を行うことを公表した。

9月28日には新たな聖火リレーの日程が組織委員会から発表され、本県の聖火リレーの実施日は令和3年6月28日(月)から6月30日(水)までの3日間になった。

12月15日には聖火リレーの実施自治体と通過順、セレブレーション会場が発表された。本県における実施市町やセレブレーション等の会場は延期前と同様である。

延期に伴い、リレーのルート上の環境変化や県警本部の指導による交通規制の強化など、一部運用の見直しが生じる事から、東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会において、県警本部や市町村、組織委員会等の関係機関との再調整を進めている。

また、2月25日には組織委員会から次のとおり新型コロナウイルス感染症対策等が発表された。

<主な感染症対策>

- ・ 聖火リレー沿道での密集の回避
 - ※ランナー走行の様子は、インターネットのライブ中継で視聴可能
 - ※著名人ランナーについては、密集対策ができる場所での走行を予定
- ・ 沿道やセレモニー会場におけるマスク着用、拍手等での応援
- ・ セレモニー会場の事前予約制等による密集の回避
- ・ 過度な密集が発生した場合は、リレーを中断
- ・ 沿道での密集回避のため、ランナーの走行場所は走行開始30分前まで公開しない
- ・ 緊急事態宣言の発出など当該都道府県の感染状況等を踏まえ、公道での聖火リレーを見合わせ、セレブレーション会場において関係者のみでの点火セレモニーを実施する場合があること

県は、これらの内容を踏まえ、今後、沿道、ランナー集合場所、セレブレーション会場などにおける具体的な感染症対策を検討し、聖火リレーを安全に実施できるよう準備を進める。

なお、本発表と併せて、オリンピック聖火リレー最初の4県である福島県・栃木県・群馬県・長野県については、予定どおり公道での聖火リレーを実施することが公表された。

(イ) パラリンピック聖火フェスティバル

「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた県民総ぐるみの思いを込めて全市町村で「採火式」を行った上で、その火を一つにし、東京へと送り出す「パラリンピック聖火フェスティバル」を開催する。

実施日は、各市町村の採火式が令和3年8月12日（木）から15日（日）の間、神奈川県の集火・出立式が令和3年8月15日（日）を予定している。今後、組織委員会から示された感染症対策を踏まえ、安全・安心に開催できるよう必要な準備を進めていく。

なお、パラリンピック聖火リレーは、競技会場が所在する静岡県・千葉県・埼玉県・東京都でのみ実施され、本県では行われない。

(ウ) 東京2020聖火リレートーチの展示

聖火リレーの機運醸成を図るため、令和2年11月12日からオリンピック聖火リレーのトーチを県庁新庁舎に展示している。また、令和3年1月4日からは、パラリンピック聖火リレートーチも加えて展示中である。



(聖火リレートーチの展示の様子)

エ 事前キャンプ (P17、18参照)

(ア) 県の事前キャンプ

海外の選手が安心して事前キャンプを行い、地域住民も安心して選手を迎えられるように、自治体において感染防止策をまとめた「受入れマニュアル」を作成することが国から示されている。

県では、県立スポーツセンター等における事前キャンプ受入れに当たり、マスク着用や手指消毒等感染防止の基本原則、PCR検査の実施、宿泊地や移動時における行動ルール等を定めたマニュアルを作成し、相手国とマニュアル順守の合意書を取り交わす。また、選手等の検査費用等に充てるため、国のホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策交付金を活用した基金造成のための条例案を今議会に提案している。そして、感染防止策をとりながら相手国との絆を深めるために、新たな交流のあり方について検討を進める。



(オンライン交流の様子)

(イ) 市町の事前キャンプに対する支援

マニュアルの標準例を作成するなど、市町のマニュアル作成に向けた支援を行う。また、市町の感染防止策に対して、基金から補助を行う。

オ ライブサイト

東京2020大会をオール神奈川で盛り上げるため、大型ビジョンでの競技中継等により臨場感が楽しめる「ライブサイト」を、オリンピックは片瀬東浜海水浴場で、パラリンピックは小田原城址公園でそれぞれ実施する。なお、実施に向けては、組織委員会の感染症対策のガイドラインを踏まえ、安全・安心に開催できるよう必要な準備を進めていく。

<オリンピック期間 12日間>
7月25日(日)～8月5日(木)



片瀬東浜海水浴場（藤沢市片瀬海岸1丁目）

<パラリンピック期間 4日間>
8月28日(土)、29日(日) 9月4日(土)、5日(日)



小田原城址公園（小田原市城内）

カ その他

(ア) 記録誌

東京2020大会の成功に向けてオール神奈川で一丸となって取り組んだ歩みを後世に伝えるため、記録誌や記録映像を作成する。

(イ) チケット

県では、児童・生徒の観戦機会確保のために用意された「学校連携観戦チケット」をはじめとして、県として必要なチケットは延期前と同規模で確保できるよう組織委員会と調整していく。

「学校連携観戦チケット」とは、次世代を担う子どもたちに、東京2020大会が一生の財産として心に残るような機会を提供することを目的としたチケットで、公立及び私立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校が対象。観戦できるのは県内開催4競技とパラリンピックの一部の競技で、価格はオリンピックが2,020円、パラリンピックが1,500円となっている。県は、購入代金の一部を支援する。（教育局・福祉子どもみらい局で実施）

(ウ) 大会開催中の情報連携

大会を円滑に運営するため、大会期間中、県庁及び江の島会場付近に連絡本部を設置し、定時報告及び緊急事態等に備えた体制を整備する。また、県内自治体との連携体制も構築する。

■ 県内開催競技日程

競技名 月 日	セーリング	サッカー (◎は横浜国際総合競技場)		野球・ソフトボール (◎は横浜スタジアム)		自転車競技 (ロードレース)
		男子※1	女子※2	野球	ソフト	
7月21日(水)			○		○	
7月22日(木)		◎一次ラウンド (うち2試合)			○	
7月23日(金)	開会式					
7月24日(土)			○		◎	男子
7月25日(日)	◎	◎一次ラウンド (うち2試合)			◎	女子
7月26日(月)	◎				◎	
7月27日(火)	◎		◎一次ラウンド (うち1試合)		◎3位決定戦 決勝	
7月28日(水)	◎	◎一次ラウンド (うち2試合)		○		男子・女子※3
7月29日(木)	◎			◎		
7月30日(金)	◎		◎ 準々決勝 (うち1試合)	◎		
7月31日(土)	◎ 決勝	◎ 準々決勝 (うち1試合)		◎		
8月1日(日)	◎ 決勝			◎		
8月2日(月)	◎ 決勝		◎ 準決勝 (うち1試合)	◎		
8月3日(火)	◎ 決勝	○ (準決勝)		◎		
8月4日(水)	◎ 決勝			◎準決勝		
8月5日(木)			○ (3位決定戦)	◎準決勝		
8月6日(金)		○ (3位決定戦)	○ (決勝)			
8月7日(土)		◎ 決勝		◎3位決定戦 決勝		
8月8日(日)	閉会式					

※1 サッカー男子の準々決勝の他3試合は宮城スタジアム、茨城カシマスタジアム、埼玉スタジアム2002、準決勝2試合は茨城カシマスタジアムと埼玉スタジアム2002で行われる。

※2 サッカー女子の準々決勝の他3試合は宮城スタジアム、茨城カシマスタジアム、埼玉スタジアム2002、準決勝の他1試合は茨城カシマスタジアム、決勝はオリンピックスタジアム(新国立競技場)で行われる。

※3 自転車競技(ロードレース)のうちタイムトライアルは富士スピードウェイで行われ、当日は観客輸送のため小田急線開成駅～富士スピードウェイ間にシャトルバスが発着する。

■ 自転車競技（ロードレース）

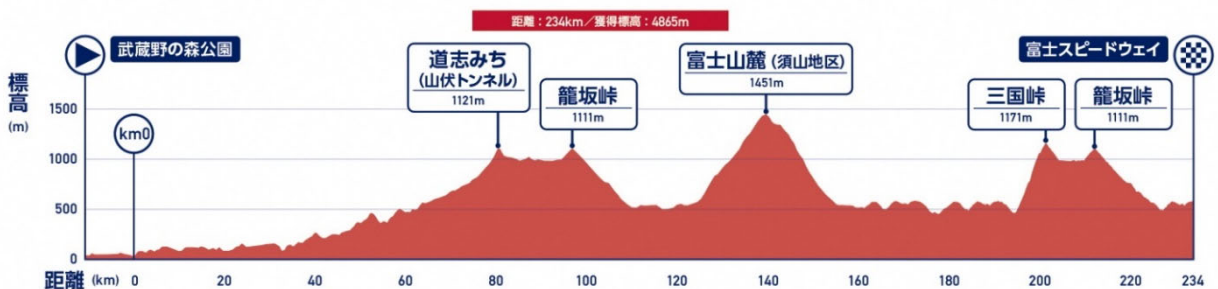
男女ともに武蔵野の森公園をスタート会場とし、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県内を通り、富士スピードウェイでゴールする。総距離は、パレード走行区間10kmを含む男子約 244km、女子約 147km、獲得標高（スタートからゴールまでの上った高さの合計）は男子約 4,865m、女子約 2,692m となり、男女ともに、起伏の激しい難易度の高いコースとなっている。

ロードレース(男子)コース



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情院、第444-507号)
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平29情院、第445-276号)

©Tokyo 2020 ©2018 ZENRIN CO., LTD.



出典：（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページ

■ 新型コロナウイルス感染症対策調整会議で示された「中間整理」の概要

- 東京大会における新型コロナウイルス感染症対策について総合的に検討、調整するため、本年9月以降、計6回、国、東京都、大会組織委員会、JOC、JPC、感染症専門家が参加する「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」を開催。
- アスリート、大会関係者、観客の3つのカテゴリーについて、場面（入国、輸送、会場等）ごとに、新型コロナウイルス感染症への対策を整理。

中間整理の概要

1. アスリートについて

東京大会の主役であるアスリートについては、最優先で検討を実施し、以下の点等について方向性を確定。

① 基本的考え方

- ・ アスリートが安全・安心な環境の下、万全のコンディションでプレーするため、入国からホストタウン、大会への参加等を経て出国まで、それぞれの場面ごとの感染症対策を行い、トータルでの環境整備・ルール作りを実施。
- ・ アスリートとの接触は必要最小限とし、接触する相手方も検査等により防疫措置を講じる。

② 出入国

- ・ 本年11月に運用を開始した「アスリート用オリパラ準備トラック」（オリパラに関連し国内で開催する国際大会へのアスリート等の入国措置）に加え、東京大会本番に関し、国外のアスリート等について、必要な防疫上の措置を講じた上で、入国を認め、入国後14日間の待機期間中の活動（練習や大会参加等）を可能とする仕組みを整備。

③ 感染症対策・行動ルール

- ・ 競技会場や選手村等におけるアスリート等の感染症対策については、基本的な感染防止策の徹底とともに、アスリート等が行動できる範囲や移動方法を限定する等のアスリート等の行動ルールを策定・徹底。

④ 検査

- ・ 入国時の検査のほか、入国後もホストタウン・選手村等を安全・安心な環境とするため、アスリート等に対して、スクリーニング検査や、試合前の検査など、必要な検査を実施。このため、選手村内に検体採取センターや検査分析設備を整備する等、体制を整備。

⑤ 保健衛生・医療・療養機能

- ・ 徹底した感染防止策を行った上でも、アスリート等に感染者・疑い例が発生した場合を想定し、アスリート等の感染症に係る迅速な初動対応と関係部門の情報共有、保健衛生上の各種対応に一元的に取り組める機能を構築するため、組織委員会感染症対策センター（仮称）の設置、保健衛生の拠点機能の構築等を実施。
- ・ 感染疑いのあるアスリート等に対し迅速に医療・療養の機会を提供するため、選手村総合診療所内の発熱外来等の設置、入院先医療機関、宿泊療養先の確保等を実施。

⑥ パラアスリート

- ・ パラアスリート等に関しては、障害の種別にも配慮しつつ、パラアスリート介助者等のスタッフ等による感染防止の支援の際のガイドラインを策定。

2. 大会関係者、観客について

- 主催者等、メディア、大会スタッフ等の大会関係者については、海外関係者の出入国や行動ルール、移動等の点に関して、大会運営との関わりの度合い、業務内容、アスリートとの接触の多寡等に応じ対応を決定。
- 観客については、観客向けガイドラインの策定・周知や、競技会場において観客に体調不良者が発生した場合の対応、入院・療養する医療機関の確保等の対策を定める。
観客数の上限については、内外の感染状況や現在行っている観客数を引き上げた場合の実証の結果なども踏まえ、国内の上限規制に準じることを基本として、最終的な決定は、来春までに行う。
外国人観客の取扱いについては、「観客の安全」と「地域の安全」の両立を図る観点を踏まえ、検討。その際、14日間隔離・公共交通機関不使用を条件とすることは、観戦を事実上困難とするものであることから、これらと同程度の防疫措置を構築。また、各国の感染状況等を踏まえ、14日間隔離の維持も含めリスクに応じた適切な防疫措置を講じる。具体的な措置の内容（入国前の検査・健康管理、入国時の検査・誓約書等確認、入国後の行動管理・健康管理、隔離などの医療面の対応、実効性の担保方法、アプリ等の導入等）については、感染症の専門的知見も踏まえつつ、来春までに決定。

3. 聖火リレー、ライブサイトについて

- 聖火リレーについては、観覧客・聖火ランナー・運営スタッフと地域住民の双方の安全・安心の確保等の観点から、組織委員会において具体的な感染予防策を年内に作成し、都道府県実行委員会など各ステークホルダーの対策を推進。
- ライブサイトについては、組織委員会は感染症対策の指針を年内に策定するとともに、ライブサイト実施予定の各自治体に対して、改めて計画を検証した上で、会場ごとの感染症対策に係る計画の提出を依頼。

4. ホストタウン・事前キャンプについて

- ホストタウンについては、感染防止対策を講じた上で、充実した交流を実現し、それを大会後のレガシーとしてつなげることが重要。
- これらの観点から、本年11月に国において策定した「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル作成の手引き」を踏まえ、ホストタウンや事前キャンプ地について、それぞれの自治体等に「受入れマニュアル」の作成を求め、感染防止対策を実施。
- 大会出場前には選手等との接触が生じない公開練習の見学やオンライン交流、出場後には感染防止策を講じた上で各ホストタウンのニーズに応じた様々な交流の実施を推進。

今後の対応

- 本中間整理を踏まえつつ、来夏の東京大会に向けて、必要な対策の具体化を図る。

※今後、以下の課題等について、取扱いの詳細を定める。

- ・ アスリート等に係る検査の実施方針
- ・ 組織委員会感染症対策センター（仮称）と保健衛生の拠点機能等の具体化
- ・ 陽性者の入院・宿泊療養体制の確保
- ・ 陽性者発生時の競技運営の在り方
- ・ 大会関係者や、観客の取扱い（観客上限、外国人観客）に係る具体的な措置
- ・ マラソン・競歩等、公道等で行われる競技における観客の感染症対策
- ・ 聖火リレー・ライブサイトにおいて混雑・密集を避けるための対策
- ・ 開閉会式におけるアスリート等の感染症対策
- ・ ワクチンが利用可能となった場合の対応

出典：内閣官房東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会推進本部事務局ホームページ

■ オリンピック聖火リレー

- ・オリンピック聖火リレーは2021年3月25日(木)に福島県からスタートし、全都道府県で実施する。
- ・本県は43番目となり、**2021年6月28日(月)～6月30日(水)**に実施する。



【リレー実施市町】

1日目(6月28日(月曜日))	2日目(6月29日(火曜日))	3日目(6月30日(水曜日))
箱根町	三浦市	川崎市
伊勢原市	横須賀市	横浜市
小田原市	鎌倉市	
大磯町	海老名市	
平塚市・茅ヶ崎市	厚木市	
藤沢市	相模原市	

【セレモニー会場】

	1日目 (6月28日(月曜日))	2日目 (6月29日(火曜日))	3日目 (6月30日(水曜日))
出発式* ¹	【箱根町】 箱根駅伝往路 ゴール地点付近	【三浦市】 三崎フィッシャリーナ・ウオーフ (うらり)	【川崎市】 等々力陸上競技場
ミニセレブ レーション* ²	【藤沢市】 江の島北緑地広場	【海老名市】 海老名中央公園	
セレブ レーション* ³	【藤沢市】 辻堂神台公園	【相模原市】 橋本公園	【横浜市】 横浜赤レンガ倉庫

*¹出発式:各日の始めに行われる、最初のランナーを送り出すセレモニー

*²ミニセレブレーション:区間の途中で行われる、ランナーの出発もしくは到着を祝うセレモニー

*³セレブレーション:各日の最後に行われる、最終ランナーの到着を祝い、1日の聖火リレーの終わりを告げるセレモニー

■ 事前キャンプの協定等締結状況

	協定等締結年月	団体名	相手国
1	平成27年9月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	エリトリア国（オリンピック）
2	平成28年2月	横浜市、川崎市、慶應義塾大学	英国（オリンピック）
3	平成28年10月	県、平塚市	リトアニア共和国（オリンピック）
4	平成29年4月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	ブータン王国（オリンピック）
5	平成29年6月	相模原市	ブラジル連邦共和国（オリンピック）
6	平成29年7月	葉山町、大同生命保険(株)	英国（セーリング）
7	平成29年10月	小田原市	モルディブ共和国（オリンピック）
8	平成30年1月	県、相模原市、(公社)日本ボート協会	カナダ（オリンピック・ボート）
9	平成30年4月	鎌倉市	フランス共和国（セーリング）
10	平成30年4月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	ミャンマー連邦共和国（オリンピック）
11	平成30年5月	横浜市、川崎市、慶應義塾大学	<u>英国（パラリンピック）</u>
12	平成30年5月	県、平塚市	<u>リトアニア共和国（パラリンピック）</u>
13	平成30年8月	小田原市、ヒルトン小田原リゾート&スパ	オーストラリア連邦（7人制ラグビー）
14	平成30年9月	逗子市、(株)リビエラ	スペイン王国（セーリング）
15	平成31年2月	厚木市	ニュージーランド（バスケットボール）
16	平成31年4月	厚木市	ニュージーランド（ゴルフ）
17	令和元年6月	横須賀市	イスラエル国（オリンピック・柔道）
18	令和元年9月	県、藤沢市	<u>ポルトガル共和国（パラリンピック）</u>
19	令和元年10月	厚木市	<u>ニュージーランド（車いすラグビー）</u>
20	令和2年1月	県、藤沢市	エルサルバドル共和国（オリンピック）
21	令和2年2月	厚木市	ニュージーランド（サッカー）
22	令和2年11月	県、藤沢市	エジプト・アラブ共和国（フェンシング）
	計	県及び10市3町6団体	16か国

(注) アンダーラインはパラリンピック

■ ホストタウンの登録状況

	登録年月	登録団体名	相手国
1	平成28年1月	県、小田原市、箱根町、大磯町	<u>エリトリア国</u>
			<u>ブータン王国</u>
			<u>ミャンマー連邦共和国</u>
2		横浜市	英国
			チュニジア共和国・イスラエル国
	ベナン共和国・ボツワナ共和国		
	コートジボワール共和国		
	モロッコ王国、ブルガリア共和国		
3		川崎市	英国
4		平塚市、県	リトアニア共和国
5		厚木市	<u>ニュージーランド</u>
6	平成29年7月	小田原市	モルディブ共和国
7		葉山町	英国
8	平成29年12月	相模原市	ブラジル連邦共和国
			カナダ
9	平成30年12月	鎌倉市	フランス共和国
10	平成31年2月	逗子市	スペイン王国
11	平成31年4月	茅ヶ崎市	北マケドニア共和国
12	令和元年10月	県、藤沢市	<u>ポルトガル共和国</u>
			エルサルバドル共和国
			エジプト・アラブ共和国
13		横須賀市	イスラエル国
	計	県及び11市3町	24か国

(注) アンダーラインは共生社会ホストタウン*相手国

*パラリンピックの事前キャンプ受入等を契機として、心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの街づくりなど、共生社会の実現に向けた取組を推進するホストタウン

2 神奈川県スポーツ推進計画(エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン)の見直し時期の変更について

神奈川県スポーツ推進計画(エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン)は、当面取り組む施策の目標年度である令和2(2020)年度に総合的な評価及び計画内容の見直しを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、次のとおり見直し時期を変更する。

(1) 計画の概要

ア 名称

神奈川県スポーツ推進計画(エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン)

イ 計画策定

平成29(2017)年3月

ウ 計画の目標年度

全体 令和7(2025)年度

当面取り組む施策 令和2(2020)年度

(2) 見直し時期の変更

令和2年度に予定していた本計画の総合的な評価及び見直しの時期を令和4年度に変更する。

なお、見直しに際しては、令和4年度からスタート予定である国の次期スポーツ基本計画を参酌して見直しを行う。

(3) 見直し時期を変更する理由

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により東京2020大会が延期になるなど、スポーツに関する社会状況に大きな変化が生じたこと。
- ・ 計画の見直しに当たっては、東京2020大会による県民のスポーツに関する意識の変化を反映させる必要があること。

(4) 見直し時期の変更による取扱い

計画の見直しを行い、見直し結果に基づき計画を改定するまでの間、当面取り組む施策の目標年度を延長し、現行計画に基づき施策を展開する。

(5) 今後のスケジュール

- 令和3年3月 スポーツ推進審議会に諮問
- 令和4年5月 「県民の体力・スポーツに関する調査」を実施（予定）
- 6月 第2回県議会定例会国際文化観光・スポーツ常任委員会に改定骨子（案）を報告
- 9月 第3回県議会定例会国際文化観光・スポーツ常任委員会に改定素案を報告
パブリックコメントを実施
- 12月 第3回県議会定例会国際文化観光・スポーツ常任委員会に改定修正案を報告
- 令和5年2月 スポーツ推進審議会より答申
第1回県議会定例会国際文化観光・スポーツ常任委員会に改定（案）を報告
- 3月 計画を改定

3 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた県立スポーツ施設の休館等について

(1) 経緯

令和3年1月7日、新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項に基づく緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部が定めた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」では、県民利用施設については原則休館することとなったため、県立スポーツ施設も1月12日より原則休館とした。

その後、当初2月7日までとされていた緊急事態宣言が3月7日まで延長されたことから、県立スポーツ施設でも引き続き原則休館としている。

(2) 「原則休館」の概要

- ・ 3月7日(日)までの個人利用・団体利用は、ともに原則休止。
- ・ 既に予約済みのものについては予約の取り消しは行わない。
- ・ 伊勢原射撃場のナショナルトレーニングセンターとしての選手強化事業、及び警察が行う銃砲所持許可に係る講習・教習は実施する。
- ・ スポーツセンターについては、かながわ緊急酸素投与センターが開設した場合は、陸上競技場と宿泊棟（3階又は2階）の利用を停止する。

<参考> 県立スポーツ施設

施設名	屋外・屋内施設
スポーツセンター	(屋外) 陸上競技場、補助競技場・フットサルコート、球技場、テニスコート、駐車場 (屋内) スポーツアリーナ1、スポーツアリーナ2、宿泊棟、グリーンハウス
西湘スポーツセンター	(屋外) テニスコート、練習コート、レクリエーション広場、スポーツ広場、ニュースポーツ広場 (屋内) 体育館、小体育室、トレーニング室、会議室
シンコースポーツ 神奈川県立武道館	(屋内) 柔道場、剣道場、小道場、弓道場、会議室
スポーツ会館	(屋内) 体育館、多目的室、会議室
山岳スポーツセンター	(屋外) リードウォール、スピードウォール (屋内) 宿泊棟、研修・トレーニング室
相模湖漕艇場	(屋外) 湖面利用、艇庫利用 (屋内) トレーニング室、研修室
宮ヶ瀬湖カヌー場	(屋外) 湖面利用、艇庫利用 (屋内) 会議室、研修室
日本クレイ射撃協会 神奈川県立伊勢原射撃場	(屋外) クレイ射場、ライフル射場